

《モダン・フニチャーの要素》

- ◎ 木材積層構造
  - ・DCW...
  - ・アト...
- ◎ 樹脂成形
  - ・セルネ
  - ・パットン
- ◎ 金属カゴ

曲げ木を得意とした  
トネット社が貢献

(きっかけ)

・1927 ゲイセンホー  
ツェンブルグ  
(ドイツ工作連盟に  
よる住宅展示)

この展示で3人は  
金脚管曲げパイプ椅子を  
出品。

この展示会には多くの  
有名デザイナーが参加  
コレヒュッセモ参加した

しかしこのようなモダンな  
椅子が、広く受け入れられた  
訳ではなかった。

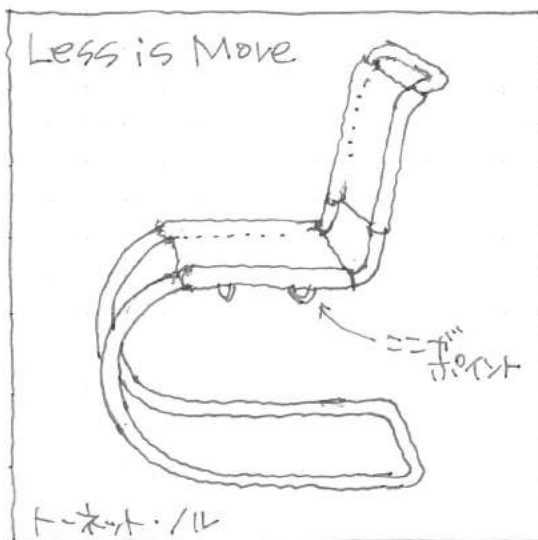
「吊橋と同じような美学において  
ベッドをつくること。あるいは  
工場のように家を組み立て  
ること。冷たい研究所のような  
ダイニングを設計することは、  
僕の衝動を全く無視している」  
by 「裝飾美術雑誌」

「個人的に私は陰気な病院  
スタイルの家具を好まない。  
手術台で食事をした。歯科  
用椅子にだらりと座ることは  
家庭の幸福に717の私の  
考えてはならない」  
by アルバート・ムスリー  
(イギリス作家)

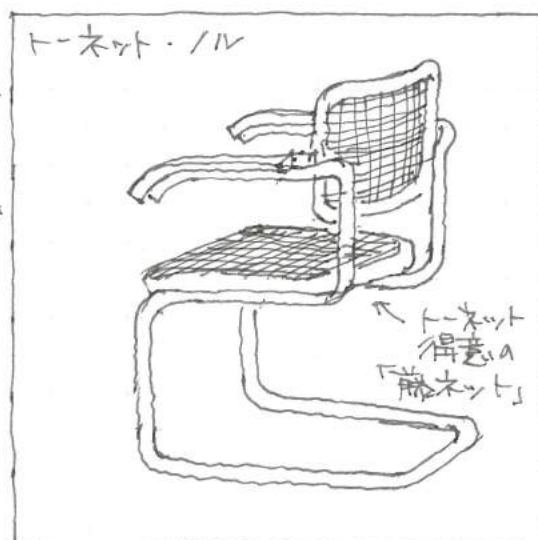
「モダンな  
小説 新鮮な新世界」



マルト・スタム 533 1926



ミース・ファン・デル・ロエ MR 1927



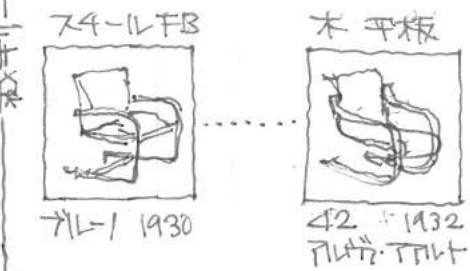
マルセル・ブローヤール 428 1928

「ローマンパイプ+レジャー  
ユートピア? ティストピア?

「キャンティレバー構造を  
めぐってマルトスタムと  
マルセルブローヤールは  
裁判で争う。  
そして、マルトスタムに  
その著作権が認められる  
(1932)」

結論  
「マルトスタムのアイデアを  
ミース・ファン・デル・ロエが  
発展させた。」

マルト・スタム  
ガスパイプ椅子(26)  
スタムのスタートを  
見たミースは  
事務所のカバにそれを  
大書きし、その上に大きな  
カーブラインを上書きした。  
それがMR.



「スケールパイプ椅子が  
普及し、多くのコピーが  
つくられた。  
「こうしたマクロな椅子が  
スケールの怪物が  
すべて消えてしまえば  
いい」マルトスタム 説  
けんざりてた?

「1925  
ワグネル・ファン・デル・ロエ  
から 人名前好き?  
→ ネーミングは娘「リネア」  
から」